

ATF Automatic Transmission Fluid **COOLER**

“BLITZ” means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 “BLITZ” has developed and evolved automotive.

取 付 説 明 書

ACR50W

BLITZ

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

御願ひ！！

- この取り扱ひ説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、正しくご使用下さい。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

装着車輛可能車輛と製品の仕様

- 車名：TOYOTA ESTIMA
- 型式：ACR50W
- エンジン：2AZ-FE
- 年式：06/01-
- 製品名称：BLITZ ATF COOLER KIT
- 製品番号：10306
- 取説No.：001

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

- 連絡先：(株)ブリッツ
- TEL：0422-60-2277
- 住所：東京都西東京市新町 4-7-6
- FAX：0422-60-0066

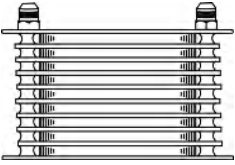
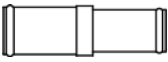
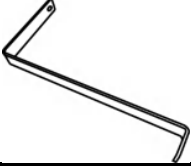
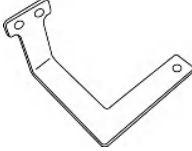
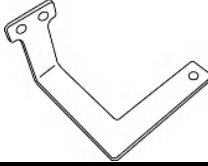
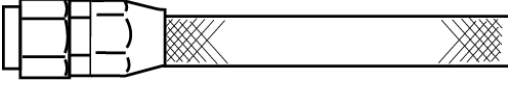
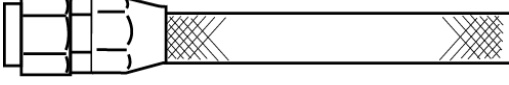

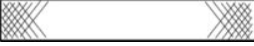
はじめに確認して下さい！

- この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店までご連絡下さい。
- 本製品を装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えたりしないよう、取り扱いには十分注意して下さい。装着不良でオイル漏れや故障の原因になる場合があります。

重要事項の確認

- 本製品はノーマル車輛を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングKIT、ラジエター、スロットル、インタークーラー等）を装着されていたり、事故歴のある車輛の場合は本KITの装着ができない場合があります。
- 出力向上等に伴うエンジン本体及び駆動系部品の破損等に関する保証は致しかねます。
- 作業中に車が動きだしたりしない様に平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停止させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業はメーカーの発行する整備手順要領書を基本におこなってください。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
- エンジンオイル漏れは車両火災となる恐れがあり、大変危険です。走行前には必ず点検を行なって下さい。
- 異物の混入によるエンジン破損を防止する為に、作業中はコア、ホース、アタッチメント、フィルター、エンジンブロックには封をする等、異物が入らないよう注意して下さい。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
- 一般公道での走行は、道路運送車輛法を守って走行して下さい。

■パーツリスト■

コア本体 TYPE-E		ホースジョイント				
	1		2			
ステーNo.1		ステーNo.2		ステーNo.3		
	1		1		1	
クーラーホースNo.1(L=750mm)			クーラーホースNo.2(L=1000mm)			
			1			1
ホースバンド		#9オイルホース				
	5		1			
フランジボルトM6×16		6	フランジナットM6		5	
タイラップ			コルゲートチューブ			

□組み付け作業手順□

■作業の方へお願い。

- 作業が終了しましたら、本取扱説明書は、必ずお客様に返却して下さい。

■作業に取りかかる前に、必ず下記の点を点検して下さい。

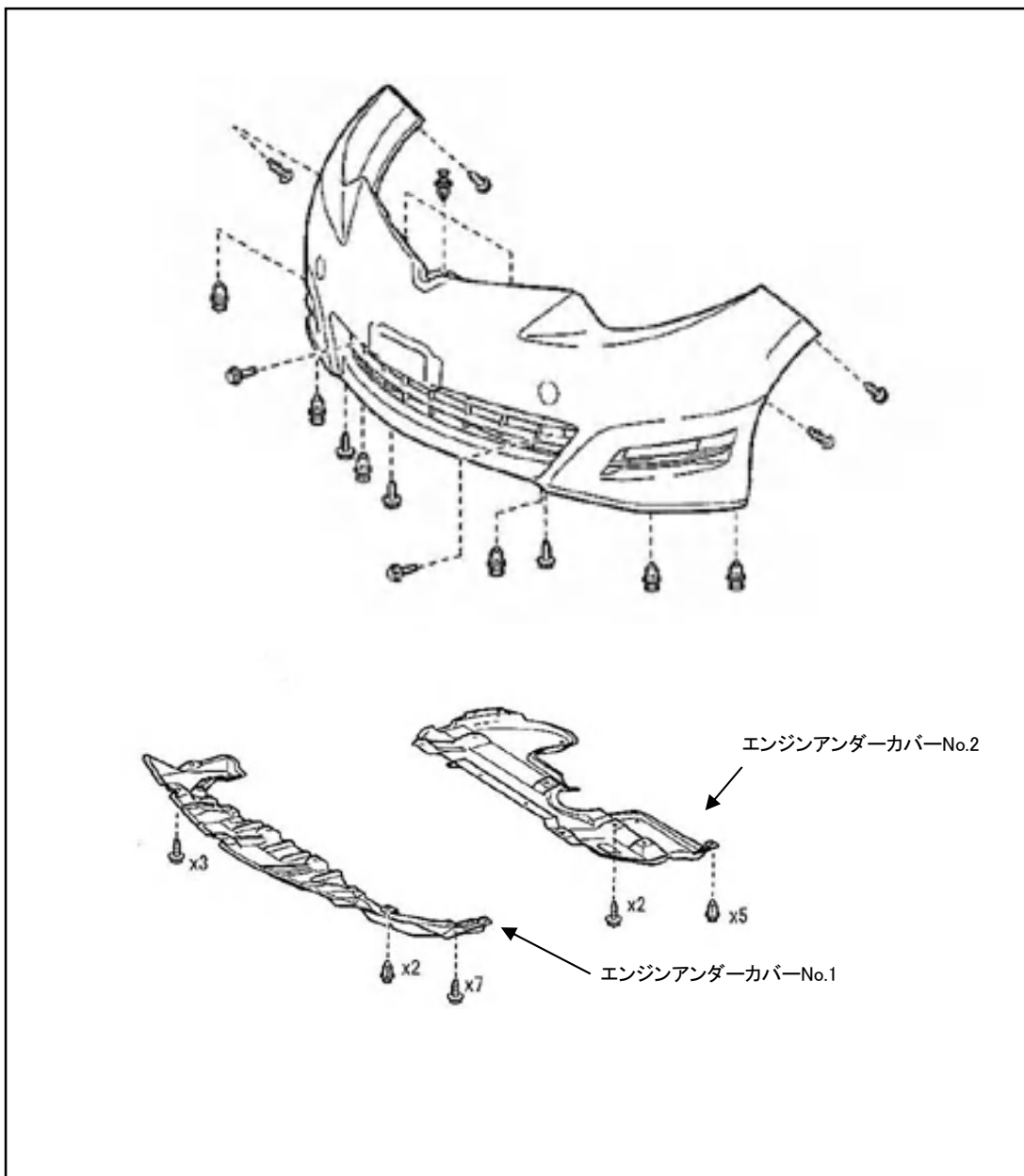
- 純正のホースやバンド等の部品に、変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら、純正品の新品に交換して下さい。
- 装着作業は専門の整備工場などに依頼して下さい。

★本文中の純正品とは、自動車メーカーの標準装着品の意味です。

□ノーマルパーツの取り外し□

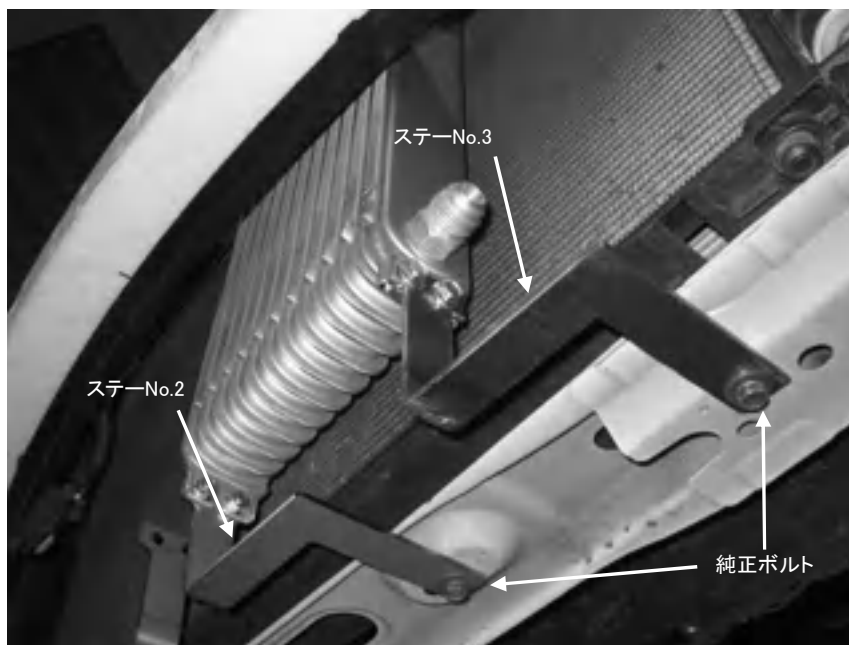
①作業前にバッテリーの（－）端子を取り外して下さい。

②フロントバンパー、エンジンアンダーカバーNo.1、No.2 を取り外して下さい。

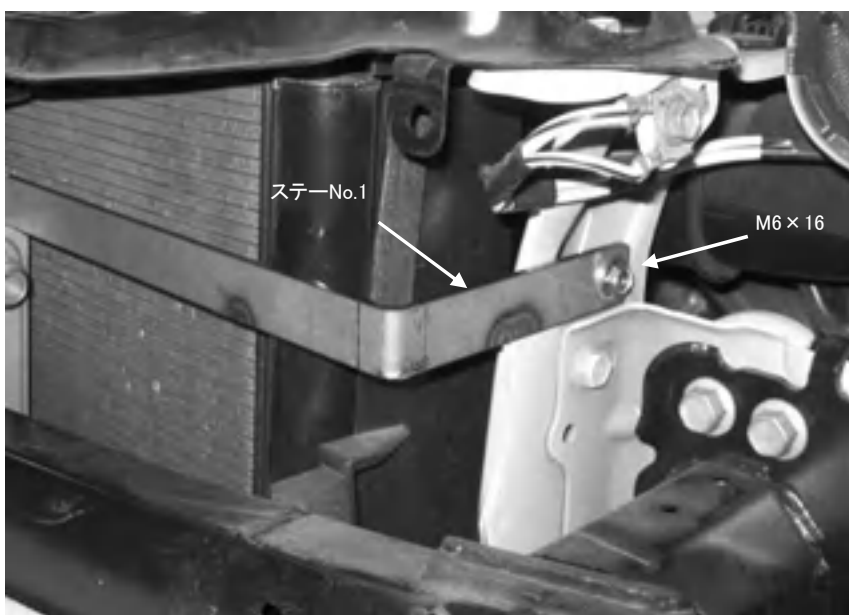


ロキットの取り付け口

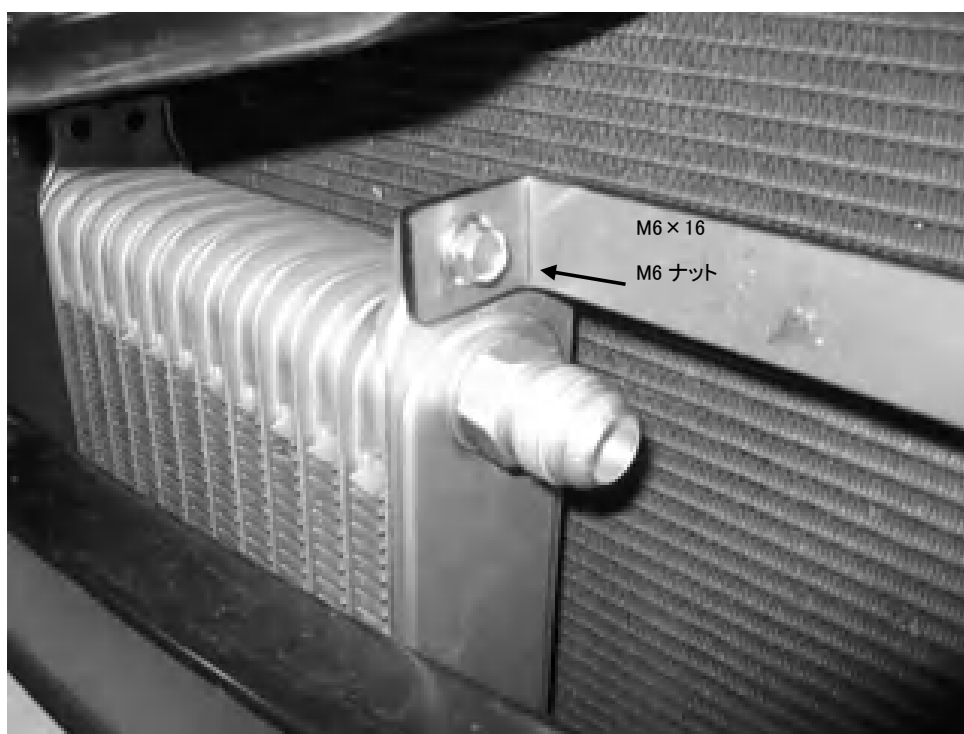
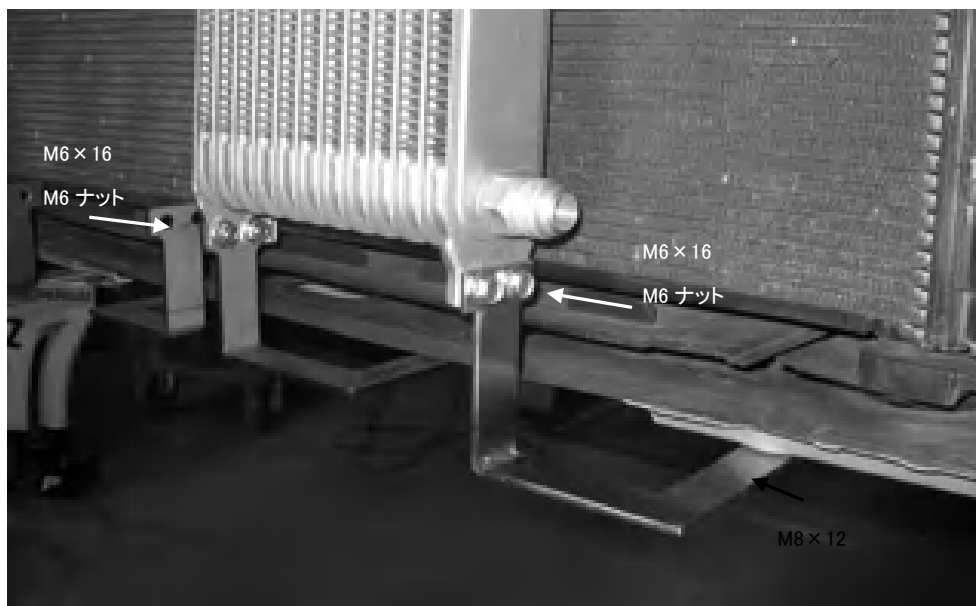
- ①下図を参考にステーNo.2、ステーNo.3 を車両へ仮留めします。
※コアはまだ取り付けません。



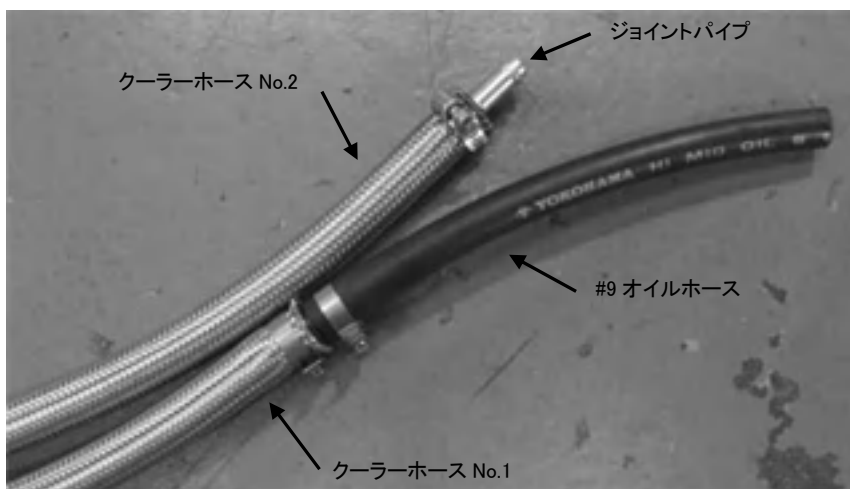
- ②下図を参考に、ステーNo.1 を仮留めします。
付属のフランジボルト M6×16 を使用します。



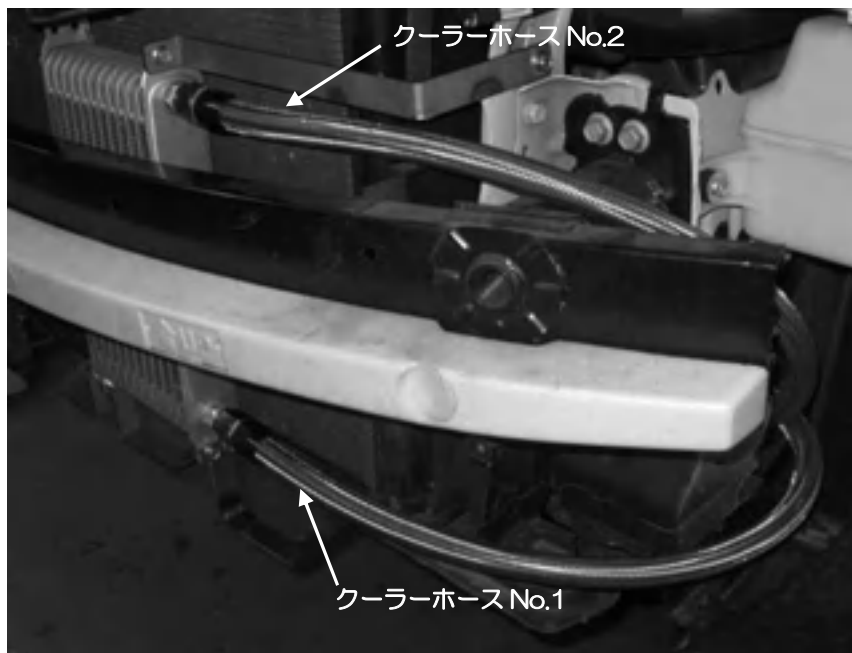
③コア ASSY を車両へ取り付けます。
付属のフランジボルト M6×16、フランジナット M6 を使用します。
※ステーNo.2、No3 は 2 ヶ所、ステーNo.1 は 1 ヶ所でコアと共締めします。
※周囲へ干渉が無いよう全体の位置を調整して各ボルトを締めて下さい。



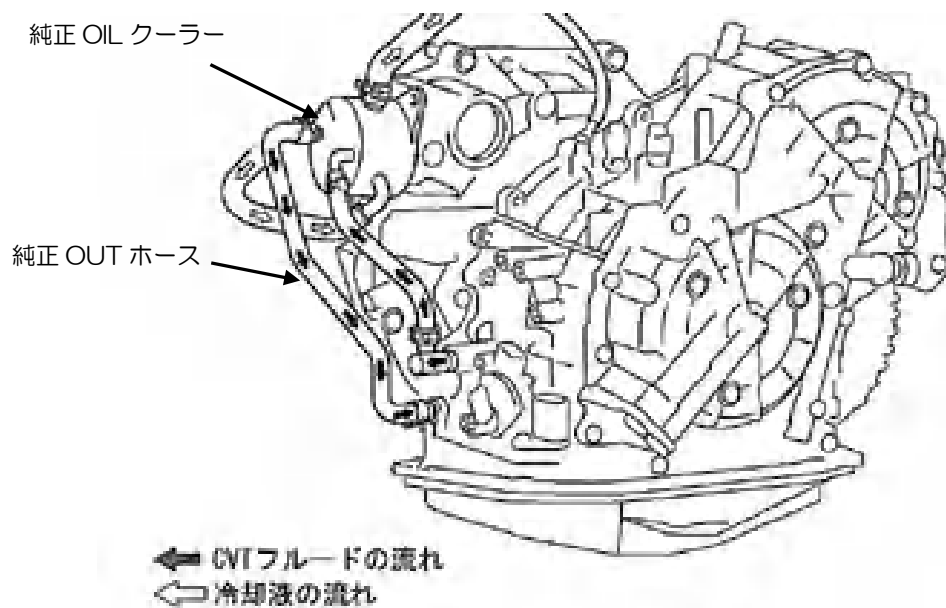
- ④クーラーホース No.1、No2 へジョイントパイプを挿し込み、付属のホースバンドで留めます。
ホース No.1 には付属の#9 オイルホースを接続し、先程と同様に付属のホースバンドで留めます。



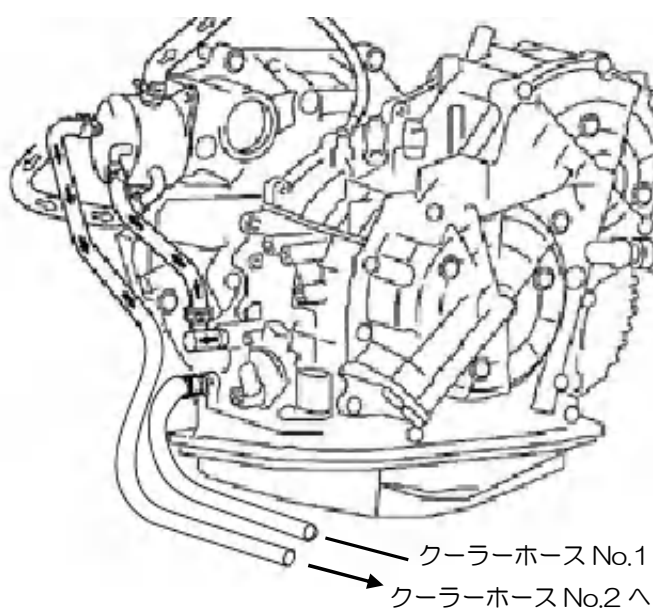
- ⑤クーラーホースをコアへ接続します。
ホースは下図のようにフェンダー内を通し、エンジンルーム方向へ向けます。
※取り付け前にホース内部を洗浄して下さい。

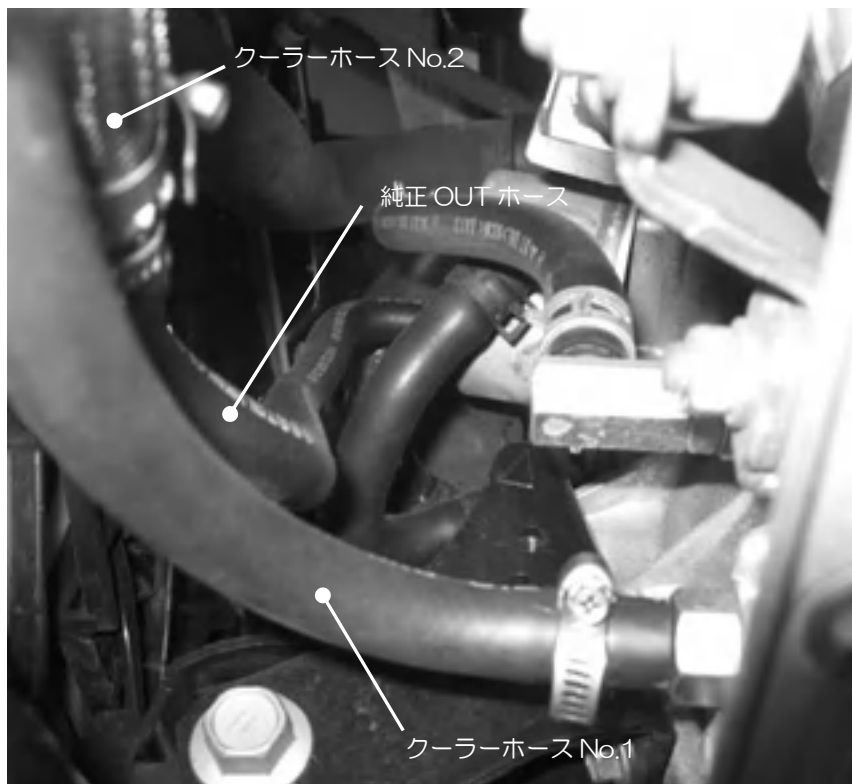


- ⑥純正オイルクーラーのOUTホースのミッション側を取り外します。
取り外す際にオイルが流出しますので、注意して下さい。



- ⑦取り外した純正 OUT ホースのクーラー側へクーラーホース No.2 を接続します。
ミッション側へは、先程組み付けたクーラーホース No.1 の #9 オイルホースを接続します。
#9 オイルホースは適当な長さで切ってミッションへ接続して下さい。
※ホース接続部は付属のクランプを使用して締めます。



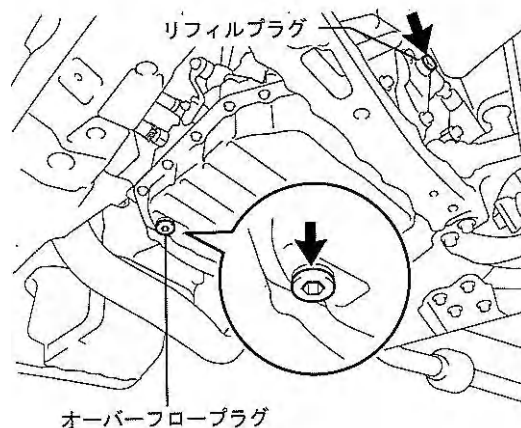


⑧オイル補充、油量点検を行ないます。
 ○車両をリフトアップしリフィルプラグよりフロード（約 0.5L）を補充します。

○エンジンを始動し、油温を（約 30-40℃）まで暖め、シフトレバーをPレンジからDレンジまでゆっくり動かし、Pレンジへ戻します。

○エンジンを止め、オーバーフロープラグを取り外します。フルードが流出する場合は細い流れになるまで待ち、プラグを締めます。
 フルードが流出してこない場合は、オーバーフロープラグから流出するまでリフィルプラグよりフルードを入れ、細い流れなるまで待ち、プラグを締めます。

○以上で補充は終了です。プラグからオイル滲みが無い確認を行って下さい。
 滲みや漏れがある場合は新品のガスケットへ取り替えて下さい。



⑨バンパーを取り付ける前に、干渉や漏れが無い点検を行なって下さい。
フィッティング接続部、ホース接続部にオイル漏れ、滲みが無い点検を行って下さい。
また、ホース類がボディ等金属部へ干渉していない点検を行って下さい。干渉している場合は、付属のコルゲートチューブをホースへ巻き、直接の干渉を防いで下さい。

⑩オイル漏れや、干渉が無く問題が無ければ、バンパー、アンダーカバーを取り付けます。

以上でキット取り付け作業は終了です。

□注意□

- 走行前には必ずオイル漏れがない点検をして下さい。
- 走行中に、異臭、異音、振動など異常があった場合は、安全な場所に車を止め、点検を行なって下さい。
- 装着後も、定期的に緩みや干渉が無い点検を行って下さい。

BLATZ